

8月は防災強化月間

8.20 豪雨災害

10年のつどい



2014年に発生した広島豪雨災害から10年、
あの時を振り返り、これからの10年を考える集いを開催します。
当時、災害ボランティアセンターを中心に支援された方々、
二度と同じ悲しみを繰り返さないよう奮闘されている方々、
これから経験をつないでくださる方々、そして地域みんなで
防災と災害時の助け合いを考えませんか。

2024

8/4日

10:00 ~ 15:00

入場無料

どなたでも
参加いただけます

場所：安佐南区総合福祉センター 6F
(広島市安佐南区中須1-38-13)

※駐車場に限りがあるため公共交通利用にご協力ください

トーク&座談会

災害ボランティア体験談を聞き
これからの多世代で語りませんか



紙芝居&コンサート

あの時を絶対に忘れない！
命のおはなしと音楽♪



写真・資料展

当時を振り返る
被災とボランティアの記録



地域&活動紹介

わがまち一押し防災活動と
能登半島応援ブース



主催：8.20豪雨災害 10年のつどい実行委員会
事務局：防災・災害ボランティア活動支援チーム広島「通称：5K」
(安佐南区社会福祉協議会内)

共催：広島市安佐南区社会福祉協議会、広島市安佐北区社会福祉協議会、
広島経済大学興動館、広島修道大学
後援：安佐南区役所、広島市豪雨災害伝承館
協力：安佐南区自主防災会連合会、古市公民館(安佐南区調整館)

イベント詳細はこちら↓



タイムスケジュール & 出演者

- 1 10:00～ オープニング
- 2 10:30～ 紙芝居&コンサート（どれみママ）
- 3 11:20～ トーク&座談会①
- 4 12:10～ 防災ガチャ大会 / 体験コーナー / コーヒー休憩
- 5 13:10～ トーク&座談会②
- 6 14:10～ 紙芝居&コンサート（こうだfusai）
- 7 14:50～ 防災ガチャ大会 / クロージング

防災ガチャもあるよ！



体験コーナー

- ①非常持出品ワークショップ
- ②地震・津波VR体験
- ③段ボールベッド組立体験

豪雨災害伝承館に
バスでご案内します



演奏者

どれみママ

歌・ピアノ・サクスが大好きなママ3名で結成。「みんな笑顔で元気になれる音楽会！」をモットーに子育てひろばや福祉施設などで活動中。



こうだfusai

うたとウクレレの夫婦デュオ。広島市内でウクレレカフェ HummingBird cafeを経営。2015年より『UkulelePeace!! ひろしま』を主催。



登壇者

学生ボランティア団体OPERATION
つながり元代表
向はるかさん（旧姓:鬼村）

大学入学直前に発生した東日本大震災、在学中の8.20災害では学生ボランティア団体の中心で活動、社会人では学生ボランティアのサポートを続けている。



広島経済大学興動館
武田山まちづくりプロジェクト
OG・OBのみなさん

発災直後から大学内に学生拠点を設け、周辺の復旧支援を展開。近くに手を合わせる場所が欲しいとの声を聞き、静かな祈りの機会と出来事をつなげる活動を続けています。





10年のつどい開催の想い

2014年8月20日、広島豪雨災害へ多くのボランティアが結集

2014年8月20日未明の豪雨により広島市で土石流などの甚大な被害が発生しました。この支援に全国から延べ3万人、多い日には2500人のボランティアが駆け付け、1000件を超える支援依頼に汗を流しました。この間、被災者の支援依頼とボランティアの善意をつなげるため安佐南区社会福祉協議会に災害ボランティアセンター(災害VC)が開設され、被災地の1日も早い復旧のため行政や社協が協力して災害VCの運営が行われました。



被災者の要望を集めるニーズ班、ボランティア受付班、要望先にボランティアを向けるマッチング班、機材の手配や人員輸送の資機材班、ボランティアの安全や健康管理の衛生班、総務班・・・人・物が不足する災害VCにあって、“被災者を支えるボランティア”を支えるのもボランティアでした。



支援活動継続と再び繰り返さないために

災害支援フェーズに合わせて災害VCから復興連携センターへ、そして社協の通常事業に移行するにあたり、ここまで災害VCを支援した有志が引き続き社協の災害復旧支援事業に協力するため「防災・災害ボランティア活動支援チーム広島(通称5Kチーム)」が誕生しました。



「記憶・継承」「警戒・広報」「教育・訓練」「交流・交換」「行動・活動」を目標に災害支援の実体験を活かし、自治体や社協が提唱する防災活動、なおも繰り返される災害支援を行う中で、あの時支えてくださった方々と「10年の節目のつどいができたらええね～」と話が持ち上がり、ご賛同くださった皆さまと企画してきました。

8.20災害を絶対に忘れないために

「被災地の今を見てもらいたいね」「防災施策や災害ボランティア活動は進化しとるんじゃないか」「遠くから駆け付けてくれて、毎日顔を合わせとったあの人たちは、今どこで何しとるんじゃないかね?」「被災支援現場以外でも会いたいよね」「あの時できんかった話をゆっくりしたいね」「明日災害が起こってもまた応援してくれるかね～」・・・

あの時ご一緒した皆さん、あの時は言葉を交わすことの出来なかった皆さん、現在地域防災に尽力されている方々、これから防災活動を担う方々が集まり、これからの10年、20年、ずっと続く未来の話ができる「きっかけのつどいの場」を開くことにしました。



ご協力いただいた皆さま

共催、後援団体のほかにも多くのご協力で
「8.20豪雨災害 10年のつどい」を開催することができました。

※ご紹介は順不同

資料協力

安佐南区自主防災会・自治会
(学区連：梅林・古市・大町・安東・安北・毘沙門台・祇園・山本・
伴・弘億団地防災会/伴学区町内会連/大塚・伴南学区社協)、
梅林復興まちづくり協議会、安佐北区大林学区自主防災会連合会、
若者活動サポートセンターあおぞら、コミサポひろしま

運営協力

広島経済大学興動館(武田山まちづくりプロジェクト/同OB・OGの皆さん/
災害を知り未来へつなごうプロジェクト/カフェ運営プロジェクト/
祇園・興動祭実行委員会)、広島修道大学ひろしま未来協創センター、
広島県大学生ボランティア連合「晴」、NPO IMAGINUS、
安佐南区ボランティア連絡会、女性防災士ネットワーク、
広島市地域防災リーダー連絡協議会、子育て・サークル応援グループMaMaぼっけ、
紙芝居なっちゃんのランドセル制作プロジェクト、運転ボランティアうさぎ会、
防災・災害ボランティア活動支援チーム広島、(一社)ふるさと楽舎、
NPO ひゅーるぼん、(社福)慈光園、(社福)ふなき福祉園
(社福)あさみなみ、(公財)ひろしまこども夢財団
広島市(危機管理室・消防局・安佐南区地域起こし推進課・安佐南消防署・
安佐南消防団)、中国新聞社、個人協力の皆さま

協賛

株式会社中本本店、西村ジョイ株式会社、
公益財団法人さわやか福祉財団、個人協賛の皆さま

問合せ

実行委員会事務局(安佐南区社会福祉協議会内)
防災・災害ボランティア活動支援チーム広島「通称：5K」
MAIL:asamin.frc+5k@gmail.com